

木曾川上流河川事務所が取り組む防災・河川環境教育のモデル校である岐阜市立岐阜小学校において、新学習指導要領に基づいた社会科の授業が実施され、木曾川上流河川事務所が作成した学習指導・発問計画、板書計画、その他の教材(写真・年表・位置図・動画、公助や共助の取り組みについての資料等)が活用されました。

● 日時：平成30年10月3日(水)～11月8日(木)

※上記期間のうち全12時間

● 場所：岐阜市立岐阜小学校

● 対象：4年生(2クラス:58名)

● 担当：岐阜小学校 加藤先生、小林先生

● 単元：社会科『自然災害からくらしを守る』

※新学習指導要領への移行に伴い新設

● 教材：学習指導・発問計画(教員用)

・板書計画(教員用)

・ワークシート(まとめなどを記入するプリント)

・配布資料(岐阜小学校区版ハザードマップ、出水・水防活動・河川施設等の写真、施設の位置図など)

※実際に使用した教材は、木曾川上流河川事務所が提供した教材の一部を先生が加工

【授業の内容(4年1組の例)】

- ① 10/3 岐阜県の自然災害
- ② 10/4 9.12災害の話を聞こう
(ゲストティーチャー: 正法寺 住職)
- ③ 10/11 岐阜市の水害の被害
- ④ 10/12 長良川の水害を防ぐ施設
(陸閘、堤防、樋門、防災ステーション)
- ⑤ 10/15 長良川の水害を防ぐ国、県、市の取組 —公助—
- ⑥ 10/16 大宮陸閘・忠節用水逆水樋門の見学
(ゲストティーチャー: 金華水防団)
- ⑦ 10/19 梶川町貯留槽のはたらき
- ⑧ 10/23 土のう作り体験
(ゲストティーチャー: 金華水防団)
- ⑨ 10/25 水害から地域を守る人々の活動 —共助—
- ⑩ 11/1 平成30年7月豪雨での地域の活動
(ゲストティーチャー: 金華水防団)
- ⑪ 11/6 水害から地域を守る人々 —公助・共助の関わり—
- ⑫ 11/8 長良川の水害から命を守るために私達に出来ること
(自助について考える)

【木曾川上流河川事務所が提供した教材の例】

【単元の構成】

単元の入り口の巻頭
わたしたちの住む地域では、火事や事故の対策や予防について警察署や消防署、地域の方が協力して取り組んでいる。わたしたちにも参加できることがある。水害や地震などの災害が起きたときには何が出来るだろう。

<社会を見る視点>
関係機関の協力(公助・共助)
<自助> 分布・変化
<社会を考えた立場>
行政(県、市) 地域・自分

第1～3時：岐阜県の自然災害(課題を伴った授業) 岐阜県では、どんな自然災害が起きたらいいだろう。
○岐阜県では、時代や地域に関係なく、地震や洪水などの自然災害が起きている。最近の岐阜県は水害が多く、特に昭和51年の『9.12災害』では大きな被害があった。
○地域の方の話を聴くと、家や家財が水に浸かると苦しい思いをした。
○こうした自然災害から、命や生活を守るために何が出来るだろう。

第4～6時：自然災害を防ぐ関係機関の取組(公助)【事実・意味認識の授業】
『9.12災害』後、岐阜市で大きな水害が起きていないのはなぜだろう。
○大雨が降っても水害が発生しないように、市や県が国とも協力しながら、堤防や陸閘、樋門などの施設の整備を行っている。
○地域の関係機関が協力することでわたしたちの安全は守られている。
○こんなにもたくさんの方が、何重にも対策を行っているのはなぜだろう。
○堤防や陸閘などで安全が守られているのに、岐阜市が河川貯留槽までつくったのは、水害が二度と大きな被害が出ないようにしたいという願いがあるからだ。

第7～9時：自然災害を防ぐ地域の取組(共助)【事実・意味認識の授業】
水害が予想される岐阜小学校区では、どのような対策がとられているだろう。
○水防団の方は、川の水位が上がると陸閘や水門を閉めるために集まっている。地域の自治会の方は、避難所の運営のための準備をしている。
○わたしたちの命や生活を守るために、たくさんの方が、ふだんから様々な取り組みをしていることが分かった。
○避難勧告が解除されても、水防団長さんが場所を離れず待っているのはなぜだろう。
○避難勧告が解除されても、安全が確認できるまで、いつでも対応できるように準備してくれている。自分たちのまちを自分たちで守りたいと思っているからだ。
○わたしたちの命や生活を守るために活動してくれている人達に感謝したいと思った。取り組みについてもっと知りたい。自分でもできることを考えたいと思った。

第10時：自然災害から地域を守る人々【まとめの授業】
わたしたちの命や生活を守るために行われていることを自地図にまとめよう。

第11、12時：わたしたちに出来ること(自助について考える)【意思決定の授業】
水害が予想される岐阜小学校区で、わたしたちの命や生活を守るために、できることはなんだろう。
○まずは自分自身の命を守る「自助」のために、私自身がハザードマップで危険箇所を調べたり、家族で避難経路を確認したり、非常用持ち出し袋を用意したりしたい。
○地域の一員として「共助」のために、自分が日頃から一緒に活動している地域の方と共に、声を掛け合って避難したり、避難所で地域の方のために活動したりできるようにしたい。

単元の出口の巻頭
わたしたちの命や生活は、様々な人たちの取り組みのおかげで守られていることが分かった。しかし、自分の命を守るためには、自分自身が正しい知識を身に付け、訓練や備えをする「自助」と、地域と協力して助け合う「共助」が大切だと思った。

12 台風が近づいてきた

マイ・タイムライン(自分の防災づくり)

自分の命を守るために、家族や地域の人と協力して準備しよう。

自分の命を守るために、家族や地域の人と協力して準備しよう。

ワークシートの例

わたしたちのハザードマップ(岐阜小学校区)

ハザードマップは、水害が起きやすい場所や危険な場所を色で示しています。自分たちの家がどこにあるかを確認し、避難経路を確認しましょう。

配布資料の例(学校区版ハザードマップ)

長良川の水害を防ぐ施設

私たちの町には長良川の水害を防ぐ施設がいくつもあります

大宮陸閘、忠節用水逆水樋門、梶川町貯留槽、防災ステーション

配布資料の例(施設の写真)

今日の課題：長良川の洪水から命を守るために、わたしたちに出来ることはなんだろう

水害が発生しそうになったらどう行動する？ わたしたちに出来ることを考えよう

自助(自分自身を守る)、共助(地域の人と一緒に)、公助(行政や関係機関の協力)

まとめ
水害から命を守るためには、事前の準備が大切だということが分かった。
自分だけでなく、周囲の人と協力することが大切である。
家に備えて、洪水が起こればどうするか、家族で話し合おうと思う。

板書計画の例

【木曾川上流河川事務所が作成した教材の授業での活用例】



岐阜県の災害発生場所の位置図、イラスト(1時間目)



公助の取組の説明資料(4時間目)



児童への配布プリント、ワークシート(5時間目)



岐阜小学校区版ハザードマップ、共助の取組の説明資料(9時間目)



平成30年7月豪雨の時の長良川の動画(10時間目)



自分達に出来る行動を考えるカード(12時間目)